

設定変更手順書

Solar Link ZERO-T2 SUI / STA



注意

ファミリー通信端末での設定やネットワークの変更はシステム全体の設定が必要なため、お客様での変更は行わず、お問い合わせください。

※ただし、以下の画面設定はお客様で設定いただけます。

- テイストの変更
- 各種表示の切替
- 表示パターン変更とコンテンツ画面の編集

→ 「画面表示の設定変更 (P.5 ~) をご参照ください」

小型・太陽光発電計測表示システム



株式会社 ラプラス・システム

<http://www.lapsys.co.jp/>

目次

1	用意するもの.....	1
2	事前準備.....	2
3	設定ツール画面の起動・終了.....	3
4	変更内容の反映.....	4
5	画面の設定変更.....	5
6	計測機器の設定変更.....	10
7	ネットワークに関する設定.....	13
8	蓄電池情報の表示.....	16

改訂履歴

バージョン	内 容	発行日
1.0	起草	2016.02.02
1.1	表紙の商品名とバージョン番号を修正。P.13 の画像変更	2016.03.14
1.2	無線 LAN の設定について追記、売買電力量表示の注意書きを追記	2016.05.17
	誤記修正	2016.06.29
1.3.1	バージョン改訂による設定ツールの画像を差替え、手順の変更	2016.10.12

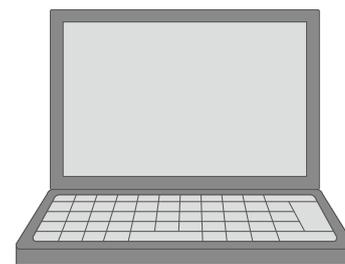
1 用意するもの

Windows PC

- ※ 対応 OS : Windows 7 / 10。
- ※ 持ち運びしやすいノート PC を推奨します。
- ※ 事前に Adobe Acrobat Reader のインストールをお願いします。
設定変更用 USB メモリ内のプログラムを使い、設定変更を行うために
使用します。



※ Windows PC は必須です!



設定変更用 USB メモリ (以下、付属の USB メモリ)

- ※ Solar Link ZERO (以下、ZERO) の設定変更に使います。



2 事前準備

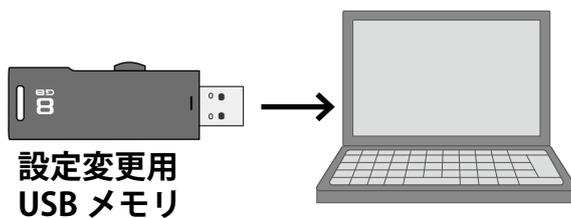


- ZERO 本体が停止中には計測されません。作業をする時間は、太陽が出ていない時間など、太陽光発電システムの計測に支障のない時間帯を推奨します。

2.1 設定情報のバックアップ

設定変更を行う前に、付属の USB メモリに保存されている全てのファイルやフォルダのバックアップを取ります。

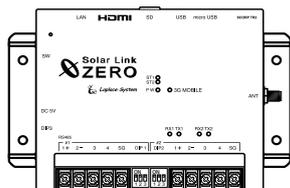
1. USB メモリを Windows PC に挿入します。
2. USB メモリ内の全てのデータを選択してコピーし、Windows PC のデスクトップに作成した任意のフォルダなどの中に貼り付けます。
 - ※ USB メモリ内のデータを「切り取り」や「移動」で削除しないようにご注意ください。
 - ※ 各ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダー オプション」の設定に依存しています。



注意

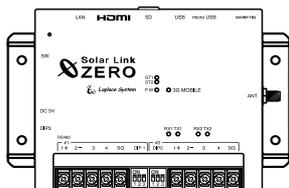
※ 複数台の ZERO をご導入いただいている場合、それぞれの ZERO 本体には同梱されていた USB メモリの組み合わせを間違わないように挿入してください。

設定変更用
USB メモリ A



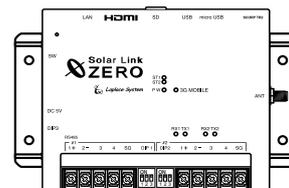
ZERO 本体 A

設定変更用
USB メモリ B



ZERO 本体 B

設定変更用
USB メモリ A

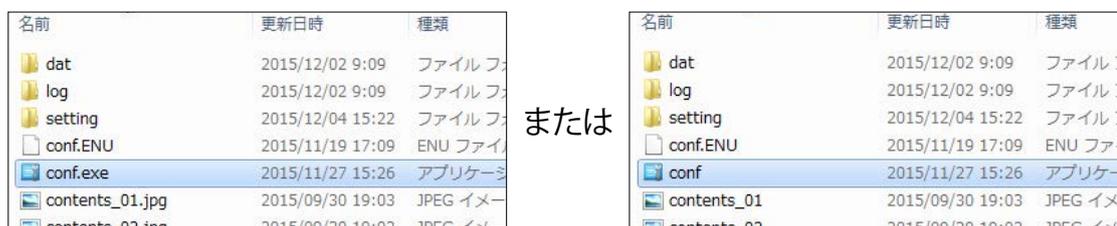


ZERO 本体 B

3 設定ツール画面の起動・終了

ZERO の各種設定変更は、設定ツール画面で行います。

1. Windows PC に付属の USB メモリを挿入します。
2. USB メモリ内の「conf」または「conf.exe」をダブルクリックします。



※ 各ファイル名の表示の違いは、お使いの Windows PC の「フォルダー オプション」の設定に依存しています。

3. 設定ツール画面が開きます。メニューバーの各メニューから必要な設定を行います。
 ※赤文字の名称および数値のクリックでも、各種の設定画面を表示することができます。
 ※各種設定については P.5 以降をご確認ください。
4. 設定が完了したら、「ファイル」メニューの「終了」をクリックするか、画面右上の「×」をクリックして設定ツール画面を閉じます。

設定ツール画面



画面上に現在の設定内容が表示されています。

4 変更内容の反映

付属の USB メモリ内の設定ツール画面で設定変更を行った後は、設定内容を ZERO へ反映させる必要があります。

1. ZERO 本体に付属の USB メモリを挿入し、ZERO 本体を起動（または再起動）します。
(起動中に設定内容が読み込まれます)

[ZERO が動作中の場合] : ZERO の本体左側面の白いボタンを 3 秒程度長押しして離し、再起動します。

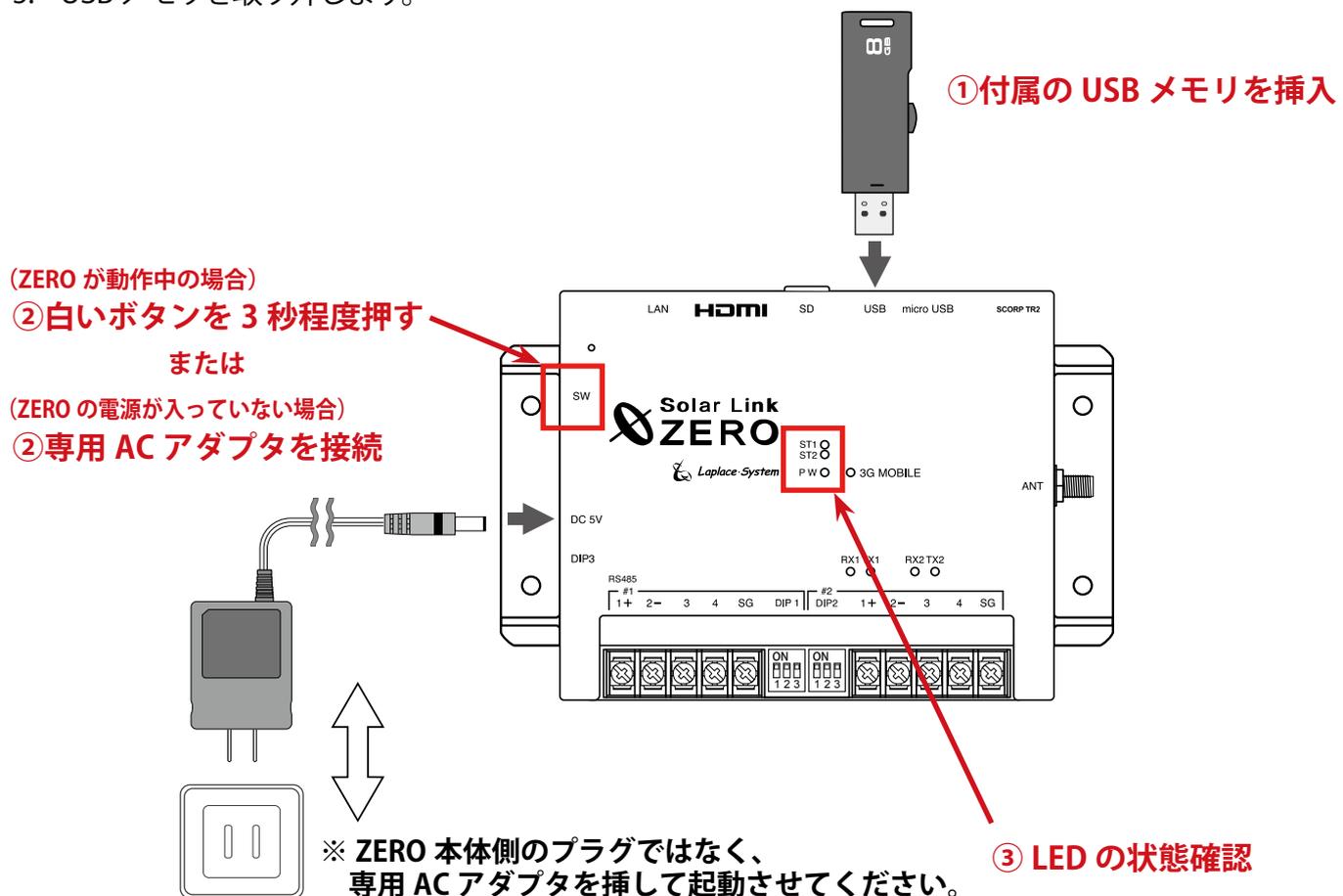
[ZERO の電源が入っていない場合] : ZERO に専用 AC アダプタを接続し、起動します。

2. 手順 1. の後、1 分ほどで起動（または再起動）が完了します。LED 状態より通信が成功しているか確認します。

【通信が成功しているときの LED の状態】

ST1		消灯
ST2		計測時に点滅 (60 秒に 1 回以上)
PW		点灯

3. パワーコンディショナが複数台接続されている場合は、Web アプリ機能（別紙「取扱説明書」参照）を使用して、接続する全てのパワーコンディショナの計測データが受信できているか確認します。
4. ZERO 本体に接続されているディスプレイを確認できる場合は、画面が正常に表示されていることを確認します。
5. USB メモリを取り外します。



- 設定変更後、付属の USB メモリ内の全てのデータのバックアップを取っておいてください。

5 画面の設定変更

設定ツール画面の「表示関係設定」メニューでは、下記の設定変更を行うことができます。

- 5.1 画面テストの変更
- 5.2 表示・非表示の切替（日射・気温、CO2 換算値、異常、蓄電池、売買電力量、消費電力量）
- 5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更
- 5.4 コンテンツ画面の入替・追加
- 5.5 グラフ画面の変更

5.1 画面テストの変更

画面のテストを7種類から選択することができます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. テイスト選択タブの中からデザインを選択します。
※右図はテストセット"スタンダード"の場合の表示例です。
3. サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示して、設定内容を確認します
(プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)。
※ プレビュー画面にはチェックボックス(赤線枠内)の設定も反映されます。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、
変更を保存しない場合は **Cancel** で画面を閉じます。



テストセット"スタンダード"の場合に選択できる画面

標準 A



標準 B



標準 C



標準 D



ブルー



グリーン



コルク



5.2 表示・非表示の切替

◆日射・気温

「計測画面」に、「現在の日差しの強さ」「現在の気温」を表示するかどうかの設定です。



- ・ 日射強度・気温を計測していない場合には、データ表示することができません。
- ・ 日射強度・気温の計測が行われている場合、「日射・気温表示」のチェックを外していても、1分値タイプのCSVファイルに値が保存されます。
→別紙：「取扱説明書」参照

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. 【表示させる場合】日射・気温表示にチェックを入れます。
【表示させない場合】日射・気温表示のチェックを外します。
3. サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示させ、設定した内容を確認します。
(プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)
4. 変更を保存する場合は **OK** を、
変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



◆CO₂換算値

「換算画面」の表示項目を、「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」とするか、「先月の発電電力量」とするかの設定です。前者にする場合は、CO₂換算係数も設定できます。

●「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」と表示させる場合

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. CO₂換算値表示にチェックを入れ、OKをクリックします。
3. 表示関係設定メニューのCO₂係数をクリックします。
4. 二酸化炭素係数を入力します。

- ※ クスノキ換算表示は、クスノキ1本の1ヶ月のCO₂吸収量を53kg-CO₂としたものです。
- ※ 二酸化炭素係数の初期値：0.579(kg-CO₂/kWh)は、平成18年経済産業省・環境省令第3号第2条第4項に基づく実排出係数及び代替値の平成26年度版です。

例：「先月のCO₂削減量はクスノキ〇〇本分」項目の計算式：

$$\text{先月のCO}_2\text{削減量はクスノキ〇〇本分} = \frac{\text{先月の発電電力量 (kWh)} \times \text{設定した二酸化炭素係数}}{53 \text{ (kg-CO}_2\text{)}}$$

5. 変更を保存する場合は **OK** を、
変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

●「先月の発電電力量」と表示させる場合

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. CO₂換算値表示のチェックを外します。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



◆異常表示（異常アイコン）

「計測画面」に、異常を知らせるアイコンを表示するかどうかの設定です。パワーコンディショナの異常時には「パワコン異常」アイコン、システム異常時には「システム異常」アイコンが表示されます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. 【表示させる場合】異常表示にチェックを入れます。
【表示させない場合】異常表示のチェックを外します。
3. サンプル画像をクリックしてプレビュー画面を表示させ、設定した内容を確認します。
(プレビュー画面は再度クリックすると閉じます)
4. 変更を保存する場合は **OK** を、
変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



◆蓄電池表示・売買電力量表示・消費電力量表示

「計測画面」に、蓄電池情報、売買電力量、消費電力量を表示するかどうかの設定です。



- ・蓄電池情報の表示を行う場合は「8. 蓄電池情報の表示 (P.16)」を参照してください。
- ・売買電力量、消費電力量の表示には上記にチェックを入れる他に別途設定が必要です。裏表紙の問い合わせ先までお問い合わせください。

5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更

画面の表示パターン・表示秒数の設定変更ができます。

1. 表示関係設定メニューの画面切替をクリックして自動画面切替画面を開きます。
2. 下表を参考に表示パターンを選択します。

1. 計測画面のみ	「計測画面」のみを表示します。
2. 計測画面 + 換算画面	「計測画面」と「換算画面」を切替表示します。
3. 任意設定	<p>表示する画面の種類とその順番・表示秒数を設定できます。</p> <p>●表示画面の選択 巡回表示させたい画面をプルダウンリストから選択します。 画面は最大 20 画面まで設定でき、1 から順に画面が切り替わります。</p> <p>●表示時間を画面毎に設定する場合 「等間隔切替」のチェックを外してから、表示させる画面の右側にある「切替間隔(秒)」に、秒数を半角数字で入力します。この場合、秒数は全ての画面に設定してください。</p> <p>●表示時間を一律に設定する場合 「等間隔切替」にチェックを入れ、秒数を入力します。入力された秒数が、全ての画面に適用されます。</p>



※各画面については別紙「取扱説明書」を参照。

3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

5.4 コンテンツ画面の入替・追加

「コンテンツ画面」の画像を、任意の画像に差し替えたり追加することができます（最大5枚）。

1. 表示させたい画像を準備します。

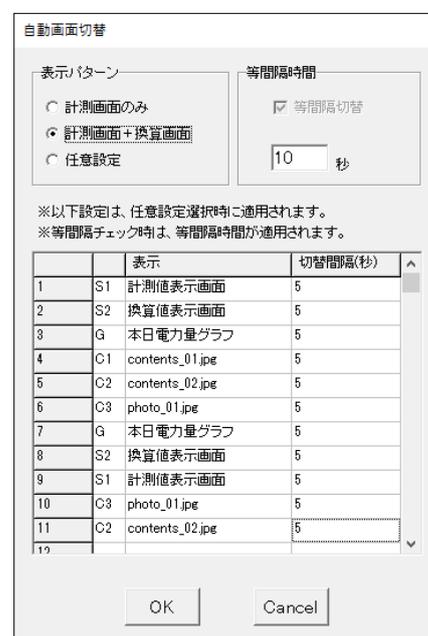
表示可能な画像：

画像の種類： **JPEG** 形式

画像のサイズ： **1920 × 1080 pixel**

ファイル名： 必ず半角英数字（例：○ contents01.jpg × コンテンツ 01.jpg）
 拡張子は小文字（例：○ contents01.jpg × contents01.JPG）

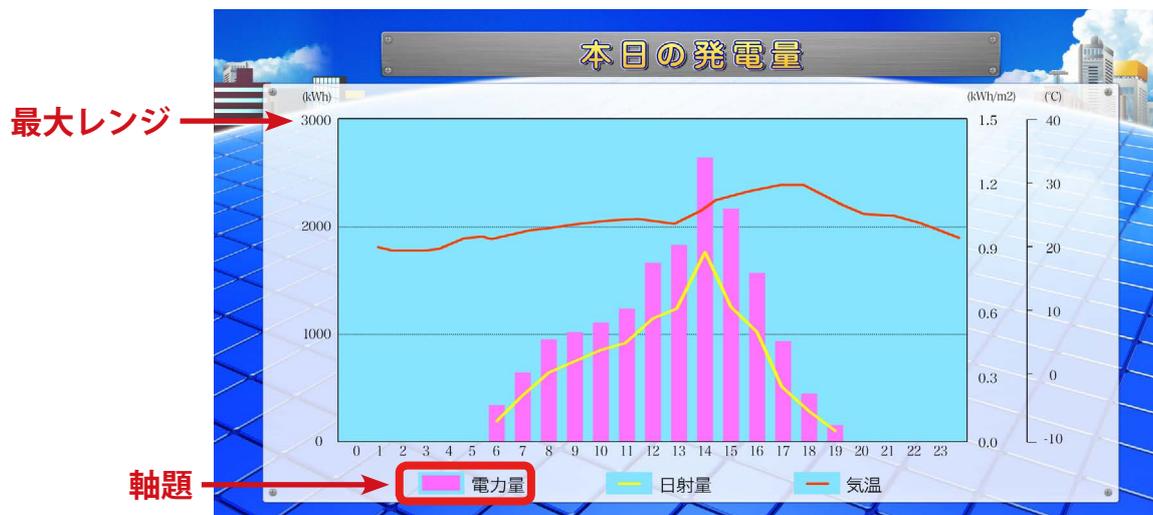
2. 付属の USB メモリに、準備した画像ファイルをコピーします。
 ※ USB メモリの中に保存できる画像ファイルは、最大 5 ファイルまでです。
3. **conf**（または **conf.exe**）をダブルクリックし、設定ツール画面を開きます。
4. **表示関係設定**メニューの**表示画面**をクリックします。
5. **画面数**のプルダウンで、表示させたい画像が全部で何枚か選択します（最大 5 枚）。
6. 表示させる画像を指定します。**No.**のプルダウンで番号を選び、対応する画像を**参照**から選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **表示関係設定**メニューの**画面切替**をクリックし、「5.3 画面の表示パターン・表示秒数の変更」(P.7) を参考に、新しく加わったコンテンツを**表示**のプルダウンリストから選択して**切替間隔 (秒)**を設定します。
9. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



- 画像サイズが 1920 × 1080 pixel でない場合や、ファイル名が半角英数字でない場合はエラーメッセージが表示されます。
- 頻繁に画像を入替・追加される場合は、画像ファイルを同じファイル名称で上書き保存するようにしてください。別名保存すると、入替・追加をした画像ファイルが microSD カードに蓄積されてしまい、データ保存領域を圧迫します。
- グラデーション画像を表示させた場合、仕様上 (RGB565)、色ムラが出る場合があります。
- 初期設定ではコンテンツ画面 2 枚、写真画面 1 枚が登録されています。

5.5 グラフ画面の変更

グラフ画面の軸題と最大レンジを変更することができます。



グラフ画面サンプル

1. 表示関係設定メニューの**グラフ**をクリックします。
2. **軸題**と**最大レンジ**の変更が可能です。
軸題は全角 5 文字以下で入力します。
最大レンジはプルダウンより「5 (kWh)」～「3000 (kWh)」の中から、設備容量より少し多い値を選択します。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

グラフ

発電量グラフ 軸題

発電量 最大レンジ kWh

グラフ画面の表示／非表示を設定することができます。

1. 表示関係設定メニューの**画面切替**をクリックします。
2. **表示パターン**の**任意設定**を選択します。
3. **本日電力量グラフ**を選択し、秒数を設定します。
 ※グラフを非表示にしたい場合は**表示**のプルダウンで空白を選択します。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

自動画面切替

表示パターン

計測画面のみ

計測画面+換算画面

任意設定

等間隔時間

等間隔切替

秒

※以下設定は、任意設定選択時に適用されます。
 ※等間隔チェック時は、等間隔時間が適用されます。

	表示	切替間隔(秒)
1	S1 計測値表示画面	5
2	S2 換算値表示画面	5
3	G 本日電力量グラフ	5
4	C1 計測値表示画面	5
5	C2 換算値表示画面	5
6	C3 contents_04.jpg	5
7	G contents_05.jpg	5
8	S2 photo_01.jpg	5
9	S1 換算値表示画面	5
10	C2 計測値表示画面	5
11	C1 contents_05.jpg	5
12	C1 contents_04.jpg	5

6 計測機器の設定変更 ※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。

設定ツール画面の「計測関係設定」メニューでは、ZERO に接続する計測機器（パワーコンディショナやリモート I/O など）の設定内容の確認や変更を行うことができます。

6.1 計測機器の設定内容の確認

設定ツール画面で確認することができます。

1. 「3 設定ツール画面の起動・終了」(P.3) を参照して、設定ツール画面を開きます。
2. 計測機器枠内に表示されている内容が、現在の設定内容です。

設定

ファイル(Q) 計測関係設定(R) 表示関係設定(S) 報告書設定(D) ネットワーク設定(U) その他設定(W)

管理者設定(Z)

計測方法

計測間隔 6 秒 平均個数 10 個

表示画面

計測画面 標準A

コンテンツ 1枚目 contents_01.jpg
2枚目 contents_02.jpg
3枚目 photo_01.jpg
4枚目
5枚目

グラフ

軸題 電力量 最大レンジ 3000 kWh

計測機器

485/232C通信 系統数 1

1系統目	デモ機	台数 1
2系統目		台数
3系統目		台数

TCP/IP通信 台数

画面切替

表示パターン 計測画面 + 換算画面

等間隔時間 10 秒

設備利用

設備容量 10.0 kW 計算要素 交流

二酸化炭素係数

係数 0.579

Copyright (C) 2012-2015 Laplace Systems Co., Ltd. All rights reserved. 13TriiN

上図は RS-485 通信のパワーコンディショナが 1 台接続されている例です。
("デモ機"の部分に選択したパワーコンディショナのメーカー名が表示されます)



- ・ ファミリー通信のシェア表示のみを行う子機の場合、計測機器枠内は空欄となります。
※カスケード通信の場合は親機、子機ともにそれぞれに接続された構成が表示されます。

6.2 計測機器の設定変更

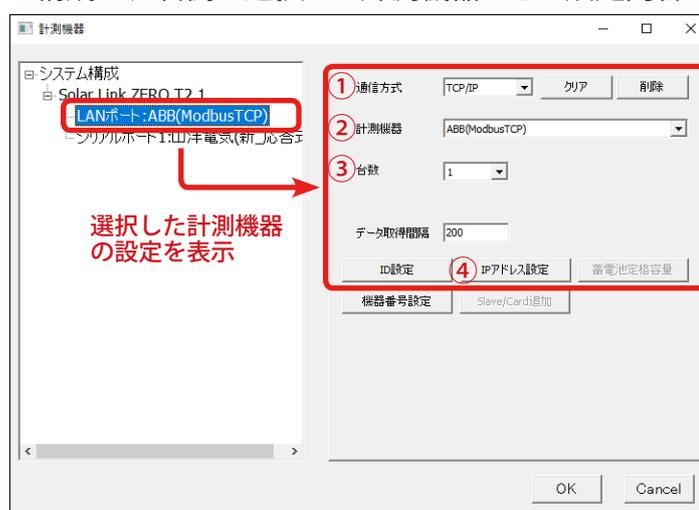


- 出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
- 計測機器の変更が必要になった場合は、必ず弊社までご連絡ください。



- 計測機器を変更するとそれまでの計測データが削除されますのでご注意ください。

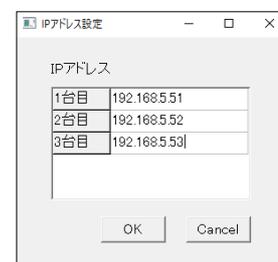
1. 計測関係設定メニューの計測機器をクリックして計測機器画面を開きます。
2. 画面左側に現在のシステム構成が、右側に選択した計測機器ごとの設定内容が表示されます。



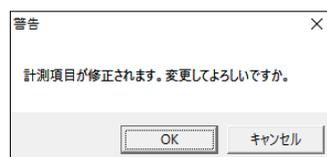
3. 設定を変更する計測機器を選択し、下記について設定と変更を行います。
 - ①通信方式：パワーコンディショナとの通信方式を選択（485/232C または TCP/IP）
 - ②計測機器：接続するパワーコンディショナの種別を選択
 - ③台数：接続する台数を選択（最大接続台数は 30 台）
 - ④【通信方式が TCP/IP の場合】

【IP アドレス設定】ボタンをクリックして表示された設定画面で、接続台数分の IP アドレスを設定します。

※本設定ではパワーコンディショナの IP アドレス設定はできません。パワーコンディショナの IP アドレス設定は、パワーコンディショナメーカーにご確認の上、パワーコンディショナ側で設定してください。



4. 入力内容を確認し、OK をクリックします。
5. 計測項目の変更や計測データの削除に関する確認画面が表示されますが、どちらも OK をクリックして計測機器画面を閉じます。



◆計測機器（系統）の追加と削除

【計測機器の追加】

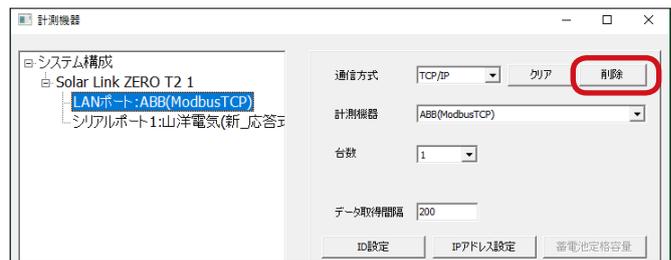
1. システム構成で、計測機器を追加したい端末を選択します。
2. [計測機器を追加] ボタンをクリックすると、システム構成に新しく項目（未設定）が追加されます。
3. 追加された項目（未設定）を選択して設定します。



【計測機器の削除】

1. 設定画面の右側の [削除ボタン] をクリックします。
2. 削除に関する確認画面が表示されますが、OK をクリックします。

※ [クリア] ボタンは画面の設定内容を初期状態に戻します。



◆ID、機器番号の設定ボタン

ID、機器番号は台数に応じて自動で設定されます。手動で変更する場合は、[ID 設定] [機器番号設定] ボタンをクリックして表示される画面で任意の番号を設定します。

ID 設定	そのポートに接続するパワーコンディショナそれぞれに ID を設定します。 Web アプリケーションでは設定した ID の昇順で表示されます。
機器番号設定	そのノードに接続するパワーコンディショナそれぞれに機器番号を設定します。 Web アプリケーションの詳細故障画面で「機器番号」として表示されます。

◆その他の設定 / ボタン

データ取得間隔	計測機器のデータ取得間隔を 0 ~ 99999msec で設定します（デフォルト値に選択した計測機器に最適な値が表示されます）。通信方式が「485/232C」の場合は、有線または無線を選択します。 ※変更すると計測不可となる場合があります。基本的にデフォルト値でご使用ください。
蓄電池定格容量 (※)	蓄電池パワーコンディショナを選択した場合に、その定格容量を入力します。 →詳細は「8. 蓄電池情報の表示 (P.16)」を参照してください。
Slave/Card 追加 (※)	リモート I/O や特定のパワーコンディショナ使用時で必要な場合に、クリックして子機を追加します。
IP アドレス設定 (※)	通信方式が TCP/IP のパワーコンディショナの場合に、パワーコンディショナの IP アドレスを ZERO に登録します。(P.11 参照)

※これらのボタンは設定が必要な場合にのみ、クリックできるようになります。

7 ネットワークに関する設定

ZERO 本体のネットワークに関する設定内容の確認や変更を行うことができます。



- ・ パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、パワーコンディショナのネットワーク設定との整合を確認しながら設定する必要があります。



- ・ ファミリー通信で使用中の端末では、IP アドレスは変更しないでください。

7.1 有線 LAN の接続設定

1. ネットワーク設定メニューの本体をクリックします。
2. 有線 LAN タブで「有線 LAN を使用する」にチェックを入れ、接続方法を選択します（自動取得／固定）。
3. 手順 2. で固定を選択した場合 IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーを入力します。
※ DNS サーバーの入力は任意です。
※パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、必ず固定 IP としてください。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



- ・ 複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。

【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
<ul style="list-style-type: none"> ・ IP アドレス (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ サブネットマスク (必須) ・ デフォルトゲートウェイ (任意) ・ DNS サーバ (任意)
構内 LAN 内パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面を表示することができます。	現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。

7.2 無線 LAN の接続設定

1. ネットワーク設定メニューの**本体**をクリックします。
2. 無線 LAN タブで「**無線 LAN を使用する**」にチェックを入れ、**接続方法**を選択します（自動取得／固定）。
3. **SSID**、**セキュリティ種類**、**暗号化種類**、**パスワード**を入力またはプルダウンから選択します。
4. 固定を選択した場合は **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**デフォルトゲートウェイ**、**DNS サーバー**を入力します。
※ DNS サーバーの入力は任意です。
※ パワーコンディショナが TCP/IP 通信で接続されている場合は、必ず固定 IP としてください。
5. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

本体

有線LAN **無線LAN** 3G回線

無線LANを使用する

接続方法
 自動取得 固定

IPアドレス (例;192.168.1.111) 192.168.1.103 SSID Honsya1F

サブネットマスク (例;255.255.255.0) 255.255.255.0 セキュリティ種類 WPA2-PSK

デフォルトゲートウェイ (例;192.168.1.1) 192.168.1.1 暗号化種類 AES

DNSサーバー (例;192.168.1.1) 192.168.1.1 パスワード *****

OK Cancel



- 複数のネットワーク設定が有効になっている場合、先に接続された方法で通信します。



- ※ 無線 LAN を使用する場合、推奨値として電波強度が「-45dBm」～「-71dBm」であれば、通信を安定して行うことができます（現地状況により、実際の通信状況は変動する可能性があります）。

【ネットワーク管理者の方へ】

下記のネットワーク情報をご準備ください。

ZERO 本体に割り振る情報	ZERO 本体が構内 LAN 接続に用いる情報
<ul style="list-style-type: none"> • IP アドレス (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> • サブネットマスク (必須) • デフォルトゲートウェイ (任意) • DNS サーバ (任意) • SSID (必須) • セキュリティ種類 (必須) • 暗号化種類 (必須) • パスワード (必須)
<p>構内 LAN 内/パソコンの Web ブラウザに IP アドレスを入力して ZERO 本体にアクセスし、Web アプリ画面を表示することができます。</p>	<p>現地のネットワーク状況に合わせてご用意ください。</p>

7.3 3G 回線の設定画面

1. ネットワーク設定メニューの**本体**をクリックします。
2. **3G 回線**タブをクリックすると、3G 回線の設定状況を確認することができます。

本体

有線LAN | 無線LAN | **3G回線**

3G回線を使用する

接続方法

自動取得 固定

IPアドレス
(例;192.168.1.111)

サブネットマスク
(例;255.255.255.0)

デフォルト ゲートウェイ
(例;192.168.1.1)

DNSサーバー
(例;192.168.1.1)

認証ID

認証パスワード

接続先

OK Cancel



注意

出荷時に設定を行っています。3G 回線タブの設定は変更しないでください。

8 蓄電池情報の表示

蓄電池に関する設定は、ZERO 本体と直接接続されている HDMI 出力のディスプレイのみに反映されます。

8.1 蓄電池表示

蓄電池システムが接続されている場合に、蓄電池の情報（出力電力と残量）をディスプレイに表示させたり、計測データ（対象ファイルは日報・月報・年報・年度報の4種類）に追加することができます。

1. 表示関係設定メニューの表示画面をクリックします。
2. 蓄電池表示にチェックを入れると、蓄電池表示機能が有効になります。
無効にする場合は蓄電池表示のチェックを外します。
※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
3. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。



蓄電池表示機能が有効になっている状態

8.2 蓄電池定格容量

蓄電池表示を有効にした場合は、蓄電池残量を正しく計測するために、蓄電池の定格容量を設定する必要があります。パワーコンディショナ毎に設定が必要です。

1. 計測関係設定メニューの計測機器をクリックして計測機器画面を開きます。
2. [蓄電池定格容量] ボタンをクリックします。



3. 台数分の入力欄が表示されます。蓄電池定格容量を接続している台数分入力します。
※出荷時に設定を行っています。基本的に変更しないでください。
4. 変更を保存する場合は **OK** を、変更を保存しない場合は **Cancel** をクリックして画面を閉じます。

8.3 蓄電池使用時のテスト

蓄電池付システムを計測している場合の計測画面（蓄電池情報が追加されます）

標準 A



ブルー



標準 B



グリーン



標準 C



コルク



標準 D



著作権について

本ソフトウェア、取扱説明書など弊社作成物の著作権は株式会社ラプラス・システムに帰属します。
株式会社ラプラス・システムの許可なく、内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、
著作権法上、禁止されております。

お問い合わせ先

株式会社 ラプラス・システム

お電話でのお問い合わせ

TEL: 075-634-8073

お問い合わせはコールセンターまで

弊社 HP からのお問い合わせ

<http://www.lapsys.co.jp/>

「お問い合わせ」フォームをご利用ください

- Microsoft, Windows, Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本説明書で登場するシステム名、製品名、ブラウザ名、サービス名は、各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- 本説明書中では TM、R マークは明記していません。
- 本説明書の内容を無断で転載することを禁じます。
- 本説明書の内容は改良のため予告なく変更される場合があります。



株式会社 ラプラス・システム

〒 612-8083

京都市伏見区 京町 1-245

TEL:075-634-8073 / FAX:075-644-4832